

## 再評価結果(令和8年度事業継続箇所)

担当課:道路局 国道・技術課

担当課長名:西川 昌宏

事業名	一般国道165号 香芝柏原改良		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 近畿地方整備局					
起終点	自:奈良県香芝市穴虫 至:大阪府柏原市田辺			延長	2.8km						
<b>事業概要</b>											
一般国道165号は、大阪市北区を起点とし、奈良県大和平野地域の南部を経由して三重県津市に至る全長約125kmの主要幹線道路です。 香芝柏原改良は、一般国道165号、大和高田バイパス、中和幹線から集中する交通を円滑に処理するとともに、交通事故の危険性が高い厳しい線形を改良することによる交通事故の削減、異常気象時通行規制区間の回避等を目的とした延長2.8kmの道路です。											
H23年度事業化		S37年度都市計画決定(大阪府側) S41年度都市計画決定(奈良県側) H22年都市計画変更	H25年度用地着手		工事未着手						
全体事業費	約178億円		事業進捗率 (令和7年3月末時点)	約32%	供用済延長	-km					
計画交通量	22,700台／日										
費用対効果分析	B/C (事業全体) 1.5 参考 2.4 [2%] 3.1 [1%]	EIRR (事業全体) 5.6%	総費用 (残事業)/(事業全体) 91/164億円 〔事業費: 74/147億円 維持管理費: 17/17億円 更新費: 0/0億円〕	総便益 (残事業)/(事業全体) 241/241億円 〔走行時間短縮便益: 224/224億円 走行経費減少便益: 16/16億円 交通事故減少便益: 1.4/1.4億円〕	基準年 令和7年						
事業の効果等											
①交通の円滑化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国道165号の奈良・大阪府県境付近では、奈良県側で3路線(8車線)が合流するため、2車線の香芝柏原改良区間では、交通容量の不足により交通混雑が発生。</li> <li>・香芝柏原改良区間を4車線に拡幅することで、交通容量が拡大され、交通混雑の緩和による旅行速度の向上や所要時間の短縮が期待される。</li> </ul>										
②交通事故削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国道165号の奈良・大阪府県境付近では、見通しの悪い急カーブや急勾配箇所が連続し、大阪・奈良の一般国道と比較して正面衝突・すれ違い時の車両接触や追突事故の発生割合が高い。</li> <li>・香芝柏原改良の整備後は、急カーブ・急勾配箇所の解消や中央帯の設置や交通混雑の緩和により交通事故の減少が期待される。</li> </ul>										
③異常気象時通行規制区間の回避	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国道165号は奈良と大阪を結ぶ主要幹線道路であるが、防災点検要対策箇所等が多数存在し、災害発生による通行止めや大雨の際の事前通行規制などにより、人流・物流の停滞のリスクがある。</li> <li>・香芝柏原改良の整備により、事前通行規制区間が解消し幹線道路の信頼性が確保される。</li> </ul>										
関係する地方公共団体等の意見											
奈良県知事の意見:	<p>香芝柏原改良は、大阪府から三重県をつなぐ主要な広域幹線道路である一般国道165号の一部をなし、本県の中和地域と大阪府を結ぶ、中和地域の地方創生を支える重要な幹線道路となっています。</p> <p>県としても、道路ネットワークが強化されることで、企業立地などが進み、新たな雇用が創出され、地域経済の活性化が進むことを期待しており、中和地域の地方創生のためにも香芝柏原改良は必要と考えております。</p> <p>以上のことから、対応方針(案)のとおり、事業継続が妥当と考えます。</p> <p>なお、事業実施にあたっては、本県と速やかな情報共有を図っていただくとともに、より一層のコスト縮減に努</p>										

めていただきたいと考えております。

県としては、引き続き円滑な事業推進のための環境整備等に努めますので、早期の供用に向けた確実な事業推進をお願いします。

大阪府知事の意見：

- 1.一般国道165号香芝柏原改良の「対応方針(原案)」案については異存ありません。用地取得率が9割となっていることも踏まえ、周辺の環境に配慮しつつ、工事の安全対策に万全を期した上で、早期供用に向けて事業を推進していただきたい。なお、予算、工程等に関して、本府と十分な調整をお願いしたい。
- 2.工事の実施にあたっては、物価上昇により事業費が増加している中、より一層のコスト縮減を図るために、施工方法等について検討していただきたい。
- 3.事業の推進にあたり、本府側の受けとなる国道165号および国道25号において、今後、渋滞悪化等の影響が出る際は、必要な対応をお願いしたい。

香芝市長からの意見：

(期待する効果)

①渋滞緩和・地域間の交流促進

- ・中和幹線、国道165号、大和高田バイパスが合流するボトルネック区間の解消により、慢性的な渋滞の緩和。
- ・大阪から市内へのアクセス性向上による地域間の交流促進。

②安全性の向上

- ・歩道整備による歩行者の安全確保、急カーブ等の解消による交通事故の低減。

③交通の円滑化

- ・緊急輸送道路である国道の整備による、異常気象時通行規制区間の解消及び災害時の円滑な避難活動や防災活動の実施。

(取り組み)

①地域の活性化

- ・香芝柏原改良の整備に合わせて、自然とのふれあいや地域交流の核となる拠点施設として、香芝総合公園の整備を推進する。

- ・地域計画制度等を活用した計画的な商業施設等の誘導を図る。

②大規模災害に備えた避難地の確保

- ・国道165号に結節する香芝総合公園は、香芝市地域防災計画において、大規模災害時に広域避難地として利用できる防災機能を備えた公園として整備することとしており、緊急輸送道路に位置づけられる国道165号と連携した防災体制の構築を推進する。

柏原市長からの意見：

①異常気象時における通行規制区間の解消

- ・異常気象時通行規制区間の回避により、緊急輸送路としての防災機能の向上に期待。

※平成29年の台風21号時には国道165号だけでなく国道25号や西名阪自動車道も同時に通行止めとなり、市民生活及び水防活動に大きな影響を与えた。

②安全性の向上

- ・見通しの悪い急カーブの解消による事故の減少、歩道整備による歩行者の安全向上に期待。

③交通の円滑化

- ・交通容量が拡大することで、当該区間の慢性的な交通混雑の緩和、定時制の確保に期待

※引き続き大阪府域側の国道165号、国道25号の渋滞緩和の対応をお願いしたい。

(取り組み)

○ 道路ネットワークの整備・交通渋滞の緩和

- ・国道165号や国道25号が結節する国分交差点付近の渋滞解消のため都市計画道路田辺旭ヶ丘線の整備、(仮称)柏原スマートICの検討を進めている。

事業評価監視委員会の意見

審議の結果「一般国道165号香芝柏原改良」は、事業の必要性等に関する視点、事業の進捗の見込みの視点から継続が妥当と判断できる。

引き続き事業を推進し、早期の開通を目指すことが適切である。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	沿線地域の人口は事業化後減少傾向にあるが、世帯数、自動車保有台数は事業化後増加傾向である。
事業の進捗状況、残事業の内容等	平成23年度事業化、用地取得進捗率約90%、事業進捗率約32%(令和7年3月末時点)
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	引き続き事業を推進し、早期の開通を目指します。
施設の構造や工法の変更等	今後も、技術の進展により新技術・新工法の採用など、コスト縮減に努めながら事業を推進していきます。
対応方針	
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。
事業概要図	
【位置図】	
【概略図】	

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格に社会的割引率(4%)を用いて基準年の価値に換算し集計したもの。

※B/Cの値は、社会的割引率4%を用いて計算した場合の費用便益分析結果。また、比較のために参考とすべき値として1%及び2%を設定し、それに対応する費用便益分析結果を参考として併記している。([ ]内は社会的割引率の値)